

### (3) 地域での生活

#### ①生活体験

問5 次のA～Iのことを、どのくらいしたことがありますか。

(たくさんある、 数回ある、 一度もない から選択)

A テレビを見ない生活をする

H セミやトンボをとる

B 赤ちゃんにふれる

I はだしで外を歩く

C 魚を焼く

D 本気のけんかをする

E 川で泳ぐ

F 牛や馬などにさわる

※平成25年度までの項目

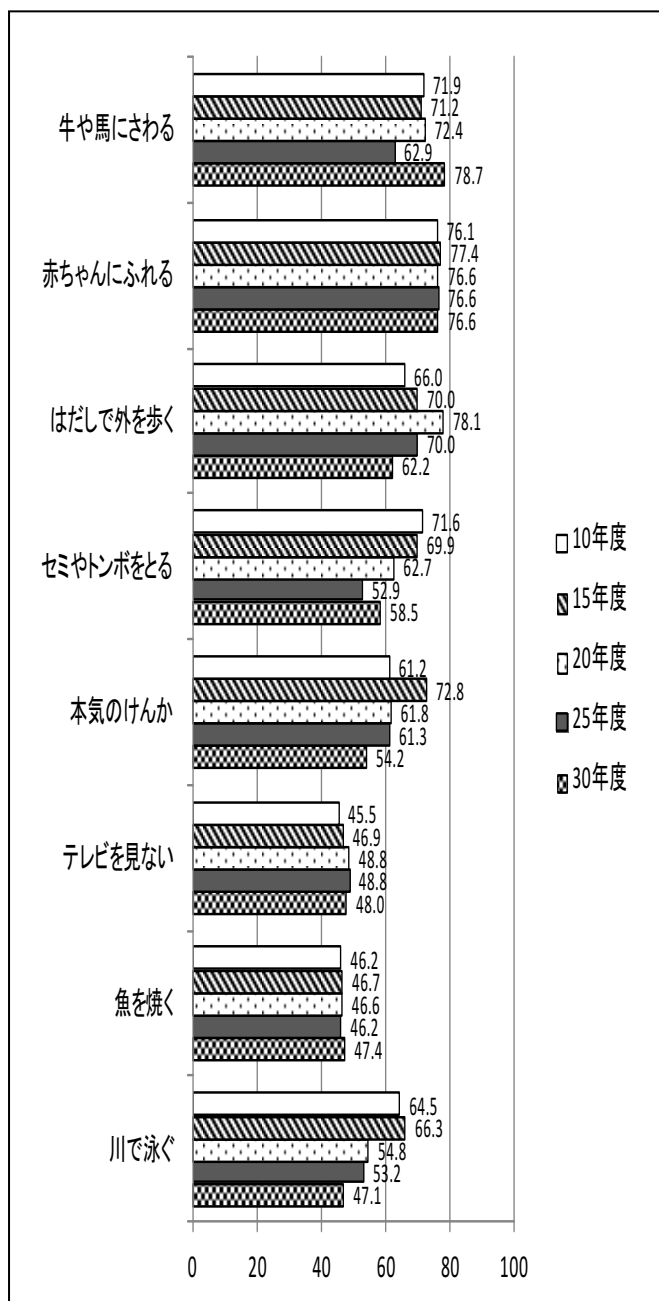
「Gカエルにさわる」「J電子レンジを使う」「Kパソコンを使う」

「L飛行機に乗る」「M携帯電話・スマートフォンを使う」

※グラフは、「たくさんある」「数回ある」を合わせたものである。

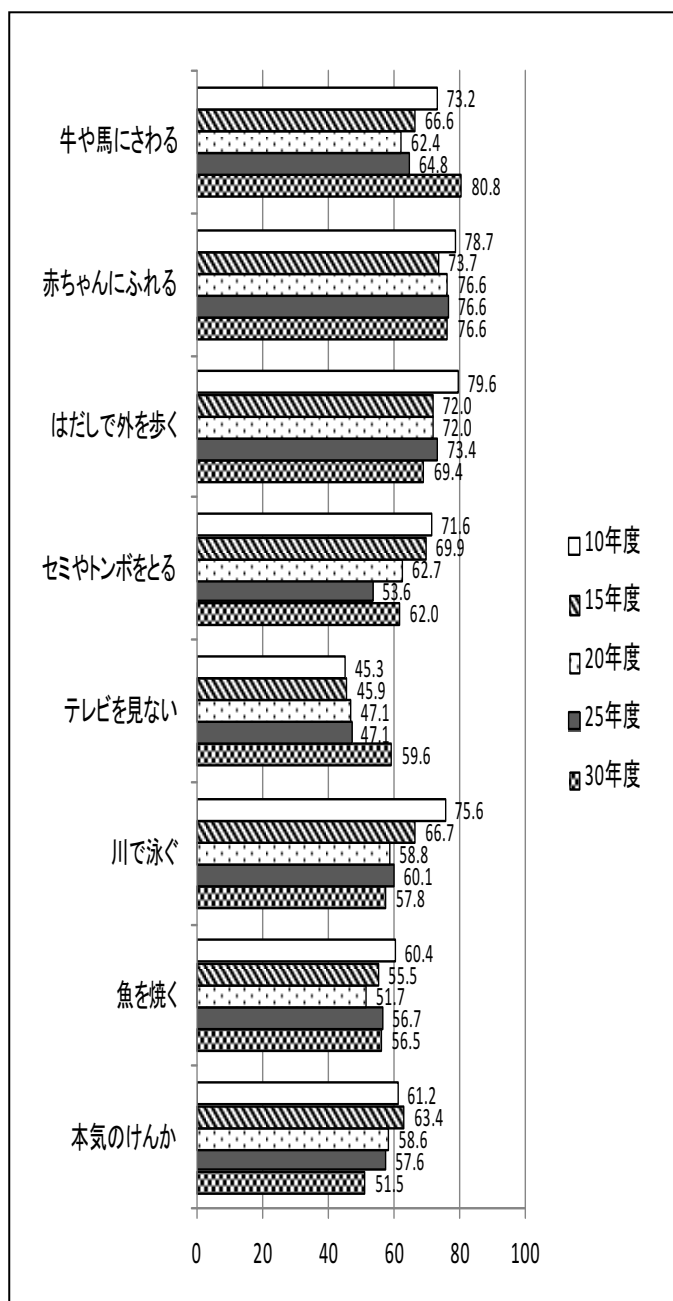
問5 次のことをどのくらいしたか (小学生)

〈たくさんある+数回ある〉



問5 次のことをどのくらいしたか (中学生)

〈たくさんある+数回ある〉

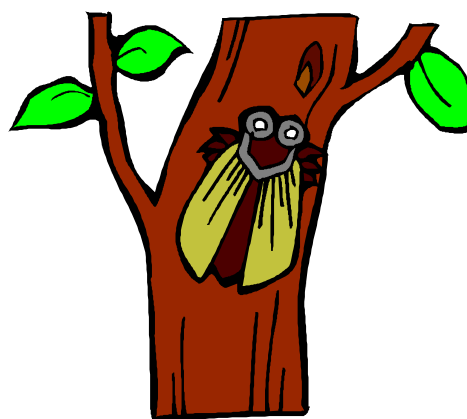


### ＜平成30年度の結果＞

小学生、中学生ともに、「たくさんある」「数回ある」が最も多いのは、「牛や馬にさわる」「赤ちゃんにふれる」で7割以上である。一方、「川で泳ぐ」「セミやトンボをとる」といった自然体験に関する項目では、小学生、中学生ともに5～6割であった。

### ＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

小学生、中学生ともに、「本気のけんかをする」割合が平成15年度以降、減少している。<sup>(\*)</sup>  
また、「牛や馬にさわる」は、小学生、中学生ともに平成30年度は過去最高の値となった。

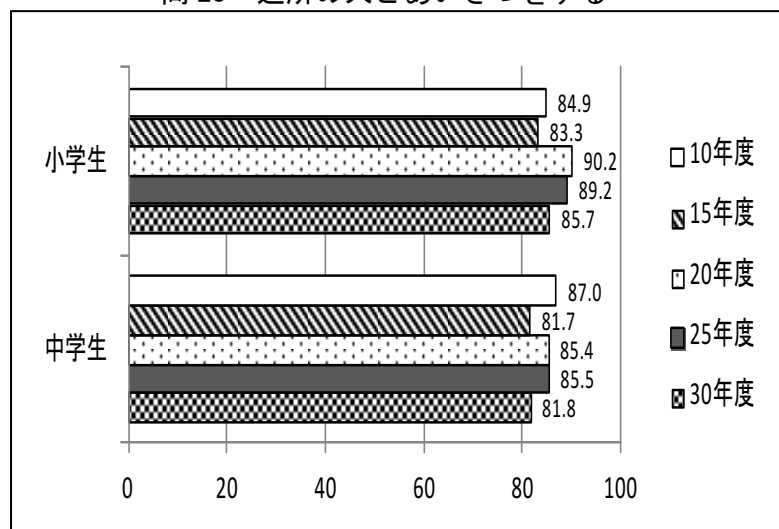


## ②地域との関わり

### 問 2 8 近所の人とあいさつをしますか。

1. する 2. しない

問 28 近所の人とあいさつをする



#### <平成30年度の結果>

小学生、中学生ともに、8割以上が「する」と回答している。

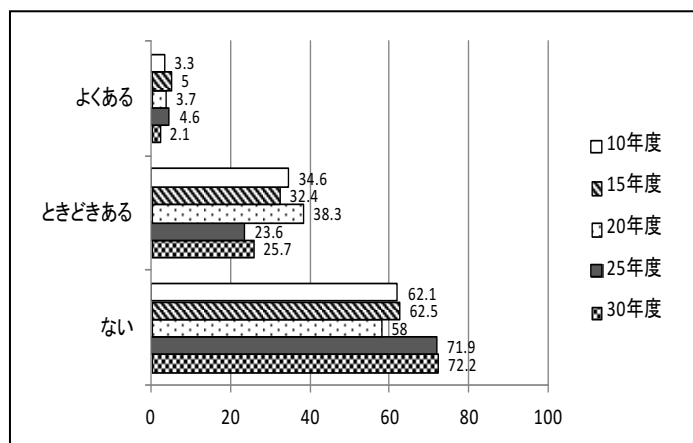
#### <平成10年度から30年度を通しての変化>

平成20年度、25年度と比較して、小学生、中学生ともに平成30年度は減少した。

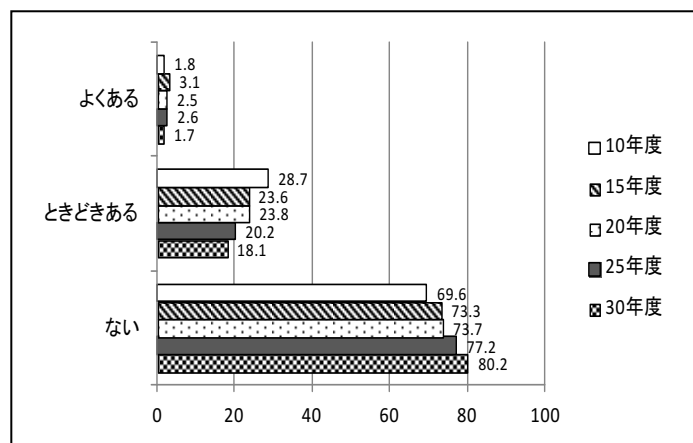
### 問 2 9 近所の人から、注意を受けたりしかなかったりしたことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. ない

問 29 近所からの注意（小学生）



問 29 近所からの注意（中学生）



#### <平成30年度の結果>

「ない」と回答した割合は、小学生で7割強、中学生で8割強であった。

#### <平成10年度から30年度を通しての変化>

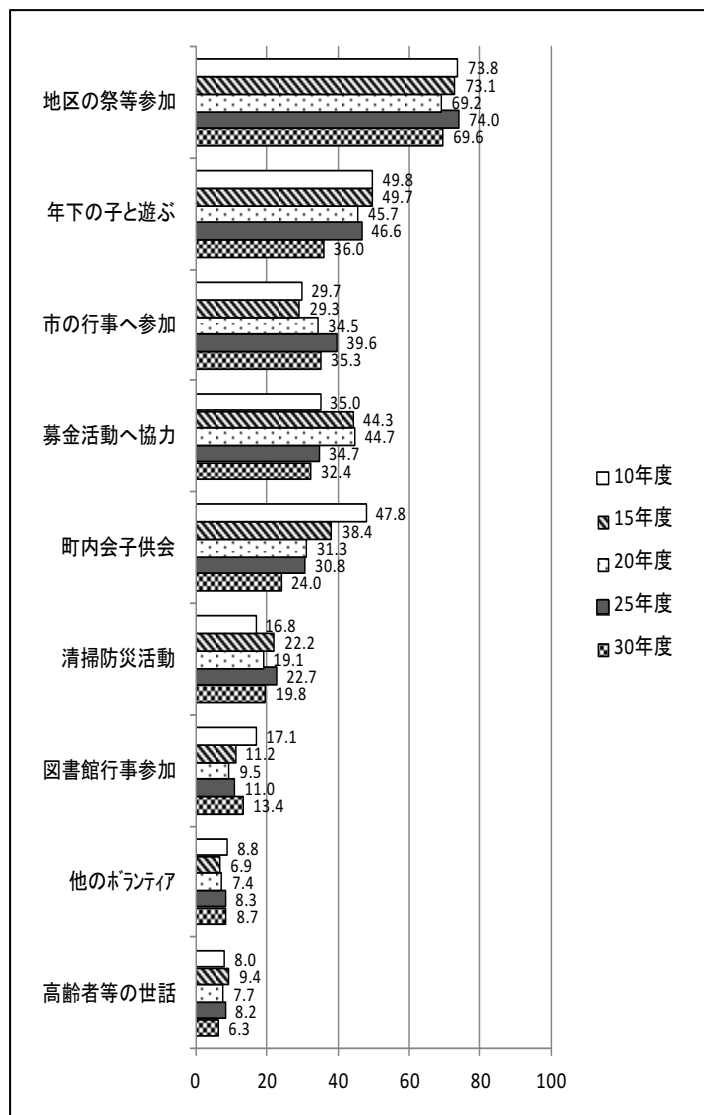
小学生、中学生ともに、注意を受ける機会が減ってきている。平成30年度は、「よくある」「ときどきある」を合わせても3割に満たず、小学生、中学生ともに今回の調査がもっとも少ない割合であった。「ない」と回答している割合は、今回の調査が最も高く、中学生に関しては増加傾向にある。(\*)

### ③地域での活動

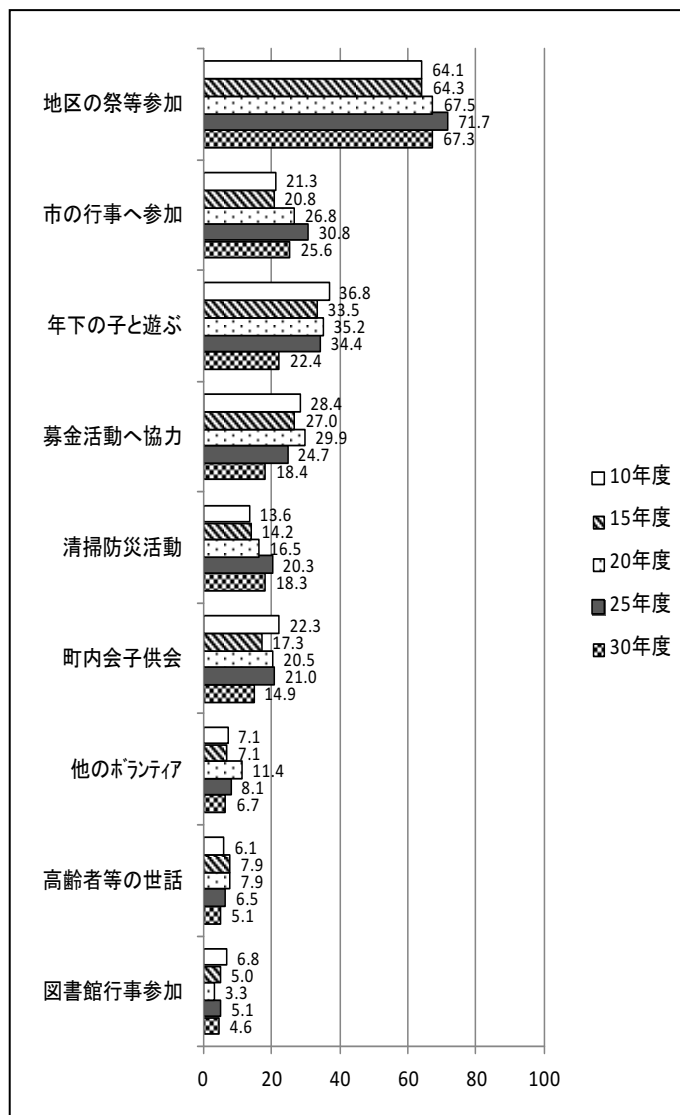
問30 過去1年間に、次の1～9のようなことをしましたか。（いくつでも）

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 近所の祭りや盆踊りなどへの参加 | 6. 募金活動への協力        |
| 2. 近所の清掃や防災などの活動   | 7. 図書館の行事への参加      |
| 3. 町内会や子ども会の活動     | 8. その他のボランティア活動    |
| 4. 近所の年下の子どもとの遊び相手 | 9. 体の不自由な人やお年寄りの世話 |
| 5. 市の行事への参加        |                    |

問30 過去1年間にしたこと（小学生）



問30 過去1年間にしたこと（中学生）



#### <平成30年度の結果>

小学生、中学生ともに、「地区の祭等参加」が最も多く、7割弱である。続いて「年下の子と遊ぶ」「市の行事へ参加」「募金活動へ協力」が上位を占める。中学生においては、「図書館行事参加」が、また、小学生、中学生ともに、「高齢者の世話」「他のボランティア」は1割弱と低い数値である。小学生の方が、中学生よりも全体的に地域での活動の参加率が高い。

#### <平成10年度から30年度を通しての変化>

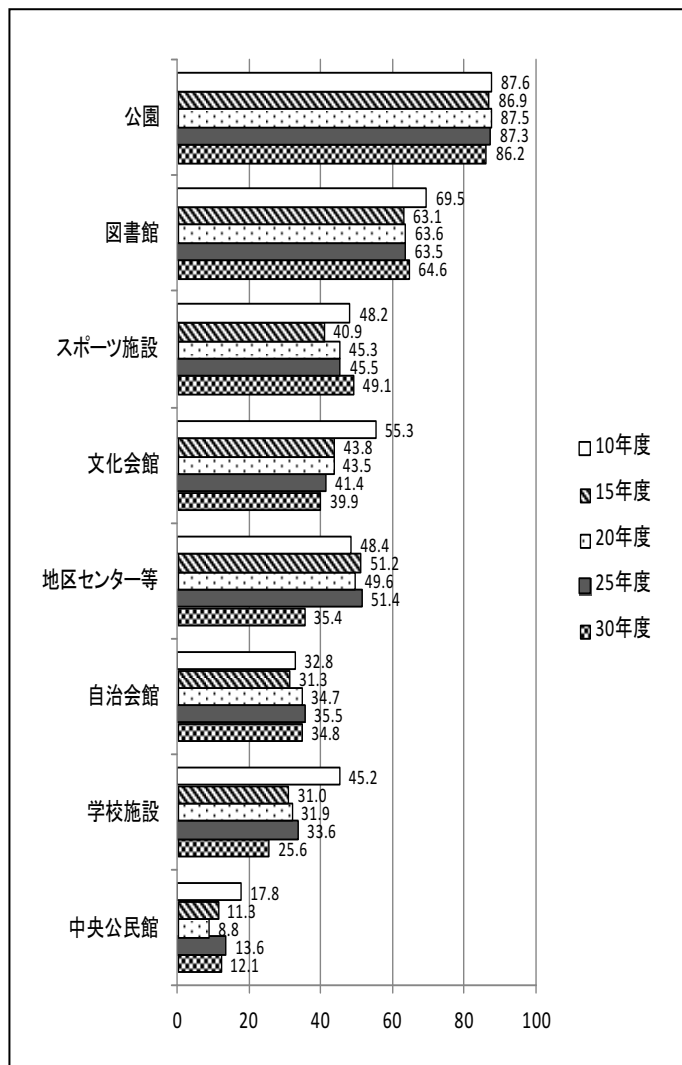
小学生、中学生ともに、「市の行事へ参加」が増加していたが、今回の調査では減少した。  
また、「町内会子ども会」の参加も過去に比べて、平成30年度は小学生、中学生ともに減少した。

#### ④地域での施設利用

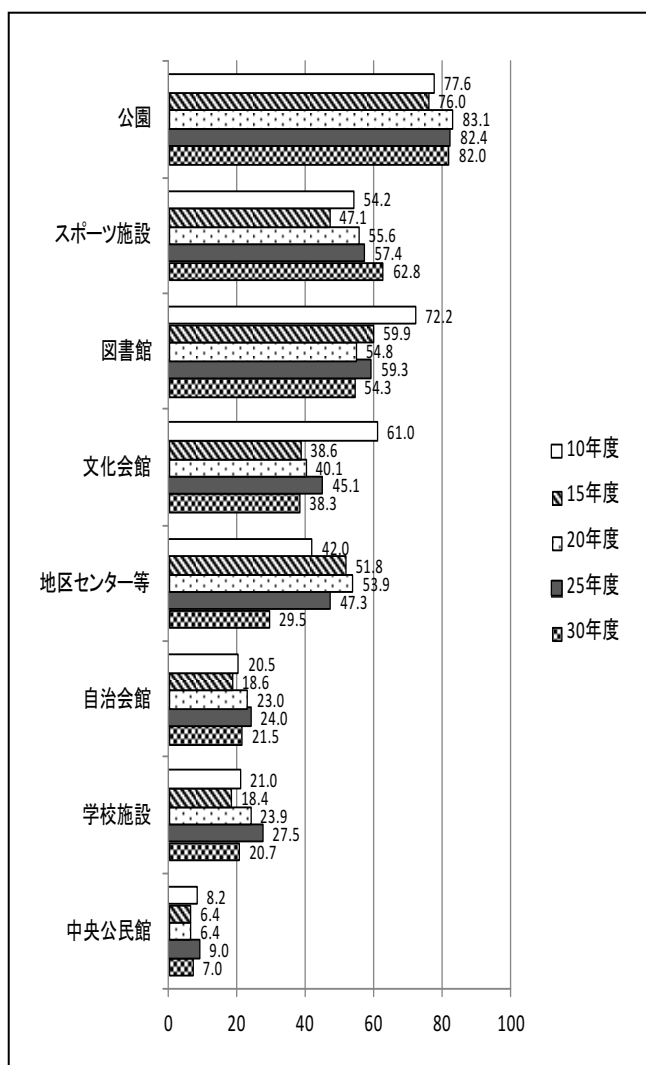
問 3 1 過去 1 年間に、学校行事以外で市内の次の施設を利用したことがありますか。  
(いくつでも)

- |                                           |                          |
|-------------------------------------------|--------------------------|
| 1. 図書館                                    | 5. 中央公民館                 |
| 2. 地区センター(南部ふれあい会館と寺尾<br>いずみ会館も含まれます)・児童館 | 6. 自治会館                  |
| 3. スポーツセンター・スポーツ施設                        | 7. 学校施設(学校での活動以外で<br>利用) |
| 4. 文化会館                                   | 8. 公園                    |

問 31 過去 1 年間に利用した施設(小学生)



問 31 過去 1 年間に利用した施設(中学生)



#### <平成 30 年度の結果>

小学生、中学生ともに、「公園」がもっとも多い。小学生は、次いで「図書館」「スポーツセンター・スポーツ施設」「文化会館」中学生は、「スポーツセンター・スポーツ施設」「図書館」「文化会館」の順となっている。

#### <平成 10 年度から 30 年度を通しての変化>

過去の結果と比べて「地区センター等」の利用は、小学生、中学生ともに大幅に減少した。また、「スポーツ施設」の利用が、平成 30 年度が最も高い値であった。

## ⑤地域への愛着

問 2 5 今住んでいるところが好きですか。

1. 好き                      2. どちらともいえない                      3. 好きではない

問 2 6 あなたは、綾瀬市が好きですか。

1. 好き                      2. どちらともいえない                      3. 好きではない

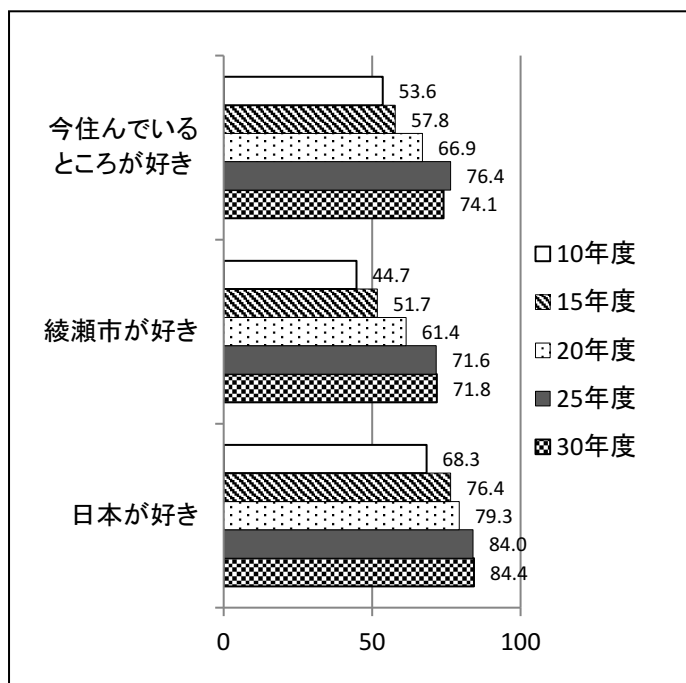
問 2 7 あなたは、日本が好きですか。

1. 好き                      2. どちらともいえない                      3. 好きではない

※グラフは、いずれも「好き」と答えたものである。

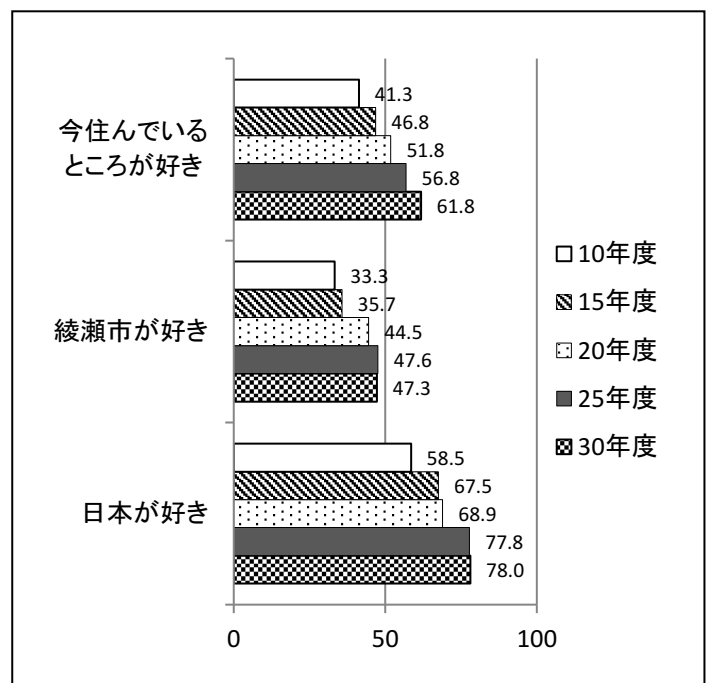
問 25～27 地域への愛着（小学生）

〈好き〉



問 25～27 地域への愛着（中学生）

〈好き〉



### ＜平成30年度の結果＞

小学生、中学生ともに、「日本」「今住んでいるところ」「綾瀬市」の順に「好き」という回答が多く、いずれも小学生の方が高い数値を示している。「好きではない」という回答は1割に満たない。

### ＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

過去の調査に比べると、「綾瀬市が好き」、「日本が好き」がもっとも高い値になっており、地域への愛着が高まっている。<sup>(\*)</sup>